

お着替えが大好き

1歳6カ月（2023年10月）

- まだまだ靴をはくと歩かず、公園に行っても、移動はだっこやベビーカーだったのですが、幼稚園の園庭開放に行った時に、はじめて靴でたくさん歩きました。
さえぎるものもなく歩きやすかったのか、気が向いたのか、広い園庭をずっと歩いていました。予期せぬ成長に驚きつつ、連れてきてよかったと思いました。
- 食事中、こぼれたミルクを見て、さっと布を手に取り、かがみこんで、せっせと床をふき始めました。何ともかわいい仕草で、こんなことするんだなと感激してしまいました。
- 保健センターでの1歳半健診の項目にあるようなので、あわててつみ木を購入し、遊ばせてみました。緊張しながら見まもっていると無事3個つめたので、ひと安心しました。
「遊んだことがないのでできない」というのはつまらないので、試してみたかったです。
案外気に入ったようで、ときどきまじめな顔で遊んでいます。
- ある日、熱心にくつ下をはく特訓をしていました。
なかなかうまくいかないようで、何度も挑戦しています。あまりに集中していたので、そっとしておきました。それから数日、時間さえあればずっと練習していました。数日後はけるようになり、うれしそうな得意そうな顔をしていました。
そういえば、赤ちゃんの頃はよくタオルを頭からかぶったり、帽子を自分からすすんでかぶりたがったり、1歳過ぎたら自分の服も大人の服も自由に体に巻いてみたり、そんな姿をよく見ました。
くつ下も服も、着たり脱いだりすることがよほど好きなようです。子どもが何に興味を持つのかなんて、ぜんぜん予想もつかないものだなと、自分の子ながら、おもしろく見ています。

2歳5カ月（2024年9月）

子どもは今月も元気にすごしています。

あわただしく生活がガラッと変わった月でした。

いま私は2人めの子を妊娠中です。12月に生まれる予定で、先月までは経過順調でした。

外出は控えるよう、健診時に指示されていました。

妊娠初期のつわりはそれなりに重く、とても苦しい日々でしたが、そんな時期も終わり、室内で子どもと遊びながら、暑い夏をのんびりすごしていました。

9月初旬の健診で、切迫早産と診断されました。自宅安静（＝自分自身の食事やトイレ以外は横に

なり家事育児は禁止。今後、もし改善が見られても出産までずっと安静は継続）とのことでした。

あまりに突然のことで目の前が真っ白になりました。

大あわてであれこれ手配しました。

ファミリーサポート、保育園の一時預かり（月15日まで）、子育てヘルパーを申し込んだり、こまごました予定のキャンセルをしたり、てんてこまいで、混乱しながらあちこち電話して手続きしました。

子どもは今までのほとんど外出せずずっと家にいる生活から、朝から晩までの保育園生活へ急に変わりました。

親側には、子どもがうまくやっていけるか心配する余裕すらほとんどなかったのですが、

当の本人は新しい生活にすんなり順応したようで、夕方になると、それはもう文字どおりに元気いっぱいにはしゃぎで帰ってくるので、その姿を見ると毎日ほっとします。

もともと月数回の一時預かりにすくなじんだ保育園好きの子だからか、とっても楽しそうな様子です。

表情も格段にいきいきして、あっという間に言葉数が増えておしゃべりが達者になり、帰宅後はますます走り回ったり踊ったり歌ったりと、つかれないのかなと不思議な位にパワフルです。

私の方が、昼間、ふと気づくと子どもがいないので、ぽっかりとさびしくなることがあります。

当初に比べると今の生活に慣れてはきたものの、状況に心がついていけず、何だか落ち着かない日々を過ごしています。

まずは、出産まで安静生活を頑張らねばと思っています。

ではまた来月・・・。

最後までお読みくださり、ありがとうございました！